

ピタッと、ゼオン。

私たちは、人がいきいきとする暮らしに
“ピタッ”と寄り添う化学メーカーを目指します。

タイヤ用汎用ゴム

静かさや省エネルギーなど、タイヤに求められる環境性能。世界でトップレベルの美観を誇る、クルマ社会に欠かせないゼオンです。

液晶用光学フィルム

新ゼオノアフィルム

大人気の大型液晶テレビ。どこから見てもくっきり見える、迫力の画面映像に欠かせないゼオンです。

特殊合成ゴム

油や熱、摩耗に強い特殊合成ゴム。世界の自動車のエンジン周りの最重要保安部品としてクルマになくてはならないゼオンです。

重合法トナー

高画質・高速印刷を可能にした、重合法トナー。世界ではじめて工業化し、数多くのプリンタに使われる、快適なオフィスに欠かせないゼオンです。

合成ラテックス

ゴム手袋、化粧用パフ、不織布カーペット…。日常の身近な生活シーンで活躍する、暮らしの隅に欠かせないゼオンです。

合成香料

香り豊かな生活を演出する、合成香料。香水やシャンプー、食品などに使用されている、暮らしの彩りに欠かせないゼオンです。

化学の力で未来を今日にする

ZEON

日本ゼオン株式会社 www.zeon.co.jp 〒100-8246 東京都千代田区丸の内1丁目6-2 (新丸の内センタービル)

DAIHACHI

その視線の、ずっと先まで。

化学の力で環境を守りことも
私たち大八化学の仕事です。

大八化学工業株式会社

大阪本社/〒541-0046 大阪市中央区平野町1丁目8番13号 Tel: 06-6201-1451
東京支店/〒104-0041 東京都中央区新富1丁目13番21号 Tel: 03-3555-2911
ISO9001・14001 認証取得 URL: www.daihachi-chem.co.jp 

課題克服で用途拡大



炭素繊維の航空機への適用が本格化

最大手の東レは3月、OGと同炭素繊維を用いた高強度・高弾性率を両立した炭素繊維「T110」(炭素繊維樹脂含浸シート)を開発し、ナノレベルで繊維構造を緻密にコントロールする焼成技術によって実現した。現在は強度、形状自由度の高さ、射出成形材料など、用途に応じて3つのタイプをそろえた。これらの材料は組み合わせることでも可能だ。2013年10月には二つのデジタル一眼レフカメラ「DS300」にセリウムを普及させた。三井化学は炭素繊維強化プラスチック(CFRP)製品メーカーとして、ボが採用されるなどしている。帝人では従来のCFRTPでは難しかった量産性やリサイクルのしやすさなどといった特徴もアピールしながら、セリウムを普及させた。三井化学は炭素繊維強化プラスチック(CFRP)製品メーカーとして、ボが採用されるなどしている。帝人では従来のCFRTPでは難しかった量産性やリサイクルのしやすさなどといった特徴もアピールしながら、セリウムを普及させた。

高強度・高弾性率へ 量産、再利用も可能に

ポリアクリロニトリル(PAN)系炭素繊維は東レ、帝人子会社の東邦テナックス、三菱レイヨンの3社で世界シェアの67割を占める。足元では軽量化や省エネ化といったニーズの高まりを背景に、航空機や自動車向け部材への引き合いが強まっており、各社の開発も活発化してきた。



炭素繊維

2020年には需要が13年比3倍以上の約14万トンへと成長するという見通しもある。日系メーカーは炭素繊維の黎明期に市況低迷の逆風を受けたが、収益性が見込める事業へと変化させてきた。市場での優位性を維持しながら、着実な成長が期待される。

車体の一部にCFRPを使った東レの次世代型EVコンセプトカー。…としており、自動車向けCFRP製品はサファイアチエーンを強化している。…もともとPAN系炭素繊維は、大阪工業技術試験所(現産業技術総合研究所(産総研))の研究員だった進藤昭男氏(現産総研名誉リサーチャー)が基本原理を見いだしたことに始まる。…当初はテニスのラケットやゴルフシャフト、釣りざおといったレジャー用途が中心だったが、現在では先端素材として航空機や自動車への適用が本格化している。

海外生産拠点を増強

植物由来採用進む エコ素材の部材供給本格化

自動車メーカーは北米や南米、アジアの需要増を取り込むと現地生産拠点を相次ぎ増強している。この動きに対応するため、自動車部材原料を供給する化学各社も海外生産拠点を注力する動きが目立つ。環境への配慮を売りにしたい自動車メーカーの要望に応えよう、植物由来の自動車部材原料の供給も本格化している。

バンバーやインパネ(計器板)に使うポリプロピレン樹脂混練(PPOP)に並ぶ。三井化学は自動車シートクッションに使うポリウレタン(PU)を顧客が求める機能や品質に合わせた配合にして提供している。中国、東南アジアに生産拠点を構築しているが、主要顧客の日系自動車メーカーが米国やメキシコで相次ぎ生産能力を向上。北米進出を求める顧客の要望に対応するため、年内に北米進出の詳細を詰める。一方、15年には世界最

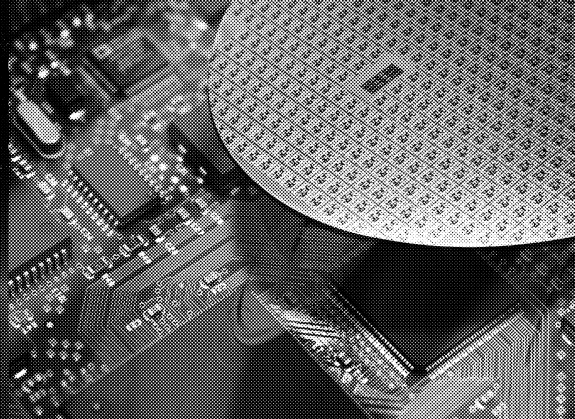
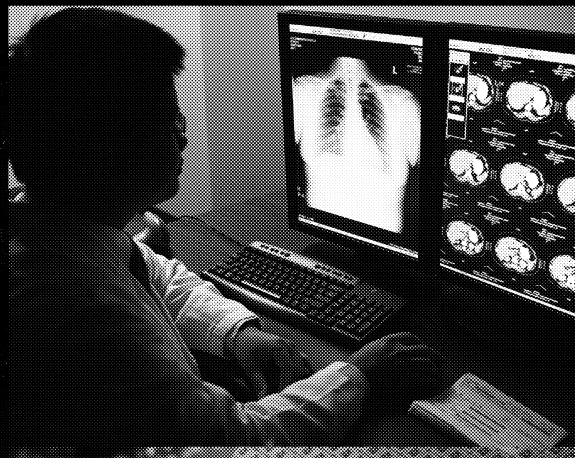
自動車素材

ポリウレタンは自動車シート部材に使われる



000トンを生産できるようになる。既に植物由来のPUはプリウスやレクサスのシートクッションに採用された。環境に優しいエコ素材を原料とした部材の供給も増やす。三井化学も12年末、植物由来の糖を使ったインソールパッドを原料とする透明な高機能樹脂「デュラビオ」の量産に乗り出した。販売が好調なスズキの新型軽乗用車「ハスラー」のダッシュボードにある内装樹脂カラーパネルに採用。15年度に生産能力を現状比3倍の1万6000トンに増やす。

100年 ミッション



100年前、空気分離技術による酸素の生産から始まった大陽日酸の歴史は、鉄鋼、化学、エレクトロニクスなどの基幹産業の成長とともに歩み、その間、ガス供給にとどまらず、プラントやMOCVD装置、排ガス処理装置など関連機器も同時に開発。今や国内はもとより北米、欧州、中国、東南アジア、インドなどグローバルに事業展開するガス総合メーカーへと成長しました。そして現在、私たちが切り開いてきた高度なガス製造・制御技術が、再生可能エネルギー・超電導・高度先端医療・IT・宇宙開発に貢献しています。これからの100年、食料・健康・環境・IT・エネルギーのためにガスで未来を拓く。それが私たちガスプロフェッショナルのミッションです。

大陽日酸
The Gas Professionals

東京都品川区小山1-3-26 東洋Bldg.
TEL.03-5788-8015 www.tn-sanso.co.jp